

志高錬成

～志を高く持ち、
よりよい成果を得るために、
粘り強く自分を鍛える～



令和6年9月27日 6号

佐久市立浅科中学校 文責：俵

【第56回清流祭「Innovation～新たな創造～」】

21日(土)、清流祭が開催されました。来賓の皆様、保護者の皆様には、生徒の学習の成果の一端をご覧いただき誠にありがとうございました。開祭式では、全クラスの意気込みビデオが流されて、清流祭への期待感が急上昇しました。そして、ステージバックの披露、幕が開かれたときに生徒席から漏れた「おお」という声に、この後繰り広げられるステージでの発表を飾ってくれる文字通りの「ステージ」が用意されたと感じました。

意見発表会では、1学年1名、2学年1名、3学年2名の4名の発表者。4名とも全校に問いかける内容で、自分が得た体験から、それを通じて感じたこと、伝えたい思いを発信してくれました。発表者の演題のみ紹介させていただきます。1学年「世界中の子どもが質の良い教育を受けられる社会へ」2学年「動物が幸せに暮らすために」3学年「暮らしやすい国にするために」「明日も生きる中学生の私とあなたへ」です。意見文発表会で感じたことは、代表の生徒の皆さんが、目の前にいる全校に発信することの素晴らしさです。発表者が経験したことから、それを聞いた生徒の皆さんが、自分の考えを深め、視野を広げていく様子が手に取るように見えました。それは、意見文発表のあとの、感想発表にもまさにあらわれていました。

総合Ⅱの音楽発表、太鼓の発表も大変見応えがありました。音楽発表は、2年生も3年生も、限られた時間で曲を演奏するだけでなく、互いの音に一人一人が合わせていく一体感を感じられました。太鼓発表は、今までに何度か練習風景を見に行ったことがありましたが、格段に上達していること、そして、曲名をはじめてその場で聞いたのですが、2曲目は、本当に馬が駆けているのが目に浮かぶようでした。最後の曲は、じっと聴いていると、トランス状態に入るような不思議な感覚を味わいました。吹奏楽部の発表は、3年生の最後のステージ。きっと、そのことをかみしめながら部員全員で発表を楽しんだことと思います。3年生の皆さん、お疲れ様でした。

昼食後は合唱コンクール。校歌からはじまり、2学年、1学年、3学年、最後に全校合唱の順でした。学年合唱も学級合唱も、毎日の練習の声を聞いていたはずなのに、本番1回の発表の素晴らしさに驚かされました。それまで積み重ねてきた経過こそがこの合唱につながったということを含めて、生徒の皆さんの合唱に集中する姿は息を呑み美しかったです。

全校ダンスも今年度の清流祭の新たな企画でした。予想はしていましたが、開祭式のダンスよりも、閉祭式のダンスが笑顔に満ちていたことは皆さんもお気づきのことと思います。「月火水木金、働いた～」清流祭の余韻とともにしばらく耳に残る気がしませんか。

そして、学習の成果が詰まった展示発表。前日準備から掲示された作品は、整然ときれいに飾られることで、皆さんの作品に込めた思いをみてとることができました。

たくさんの成長の姿を見ることができた清流祭が終わりました。生徒会最大の行事での皆さんの経験は、必ずこの後につながるものです。これから、日常生活に戻りますが、自分が感じたこと、考えたこと、良かったことや反省点も含めて、「新たな明日」にむかっていけるといいです。

【連絡・お願い】

・10月1日に「部活動地域移行の情報交換会」を本校会議室にて開催します。すでにご案内の通りですが、佐久市教育委員会様をお招きし、お話をうかがいます。多くの方のご参加をお待ちしております。参加人数把握のため、QRコードから参加申込にご協力ください。

